



関西プラスチックごみゼロ宣言について

令和元年 5 月 23 日

広域環境保全局

プラスチックごみ問題については、地球規模での環境汚染や生態系への影響が懸念されており、6 月 28 日～29 日に大阪で開催される G20 サミットにおいて議論される予定になっている。この機会を捉え、関西広域連合では、プラスチックごみ問題への取組を広く発信することにより、環境先進地域「関西」を周知し、認知度を高めることとする。

その一環として、アジア各国による廃棄物の禁輸措置による国内での廃プラスチックの保管量の増加や処理のひっ迫などの現状も踏まえ、域内の住民、事業者などに対し、3 R の一層の推進を呼びかける。また、プラスチックごみによる海洋汚染防止に取り組む強い決意を国際社会に向けて発信するため、今回、「関西プラスチックごみゼロ宣言」（以下、「宣言」という。）を下記のとおり発出することとする。

記

1. 宣言案の内容について

別紙 1 のとおり

2. 今後の取組について

プラスチックごみゼロに向けた以下の取組を新たに行い、これまで取り組んできたマイボトルやマイバッグ持参運動等 3 R をさらに推進する。

①宣言の一斉広報

- ・各構成府縣市等のホームページに宣言書を掲載する。
- ・時期は6月上旬頃を予定。

②「私のプラごみ削減提案（仮称）」の募集

- ・今回の宣言発出を契機として、構成府縣市の住民、団体、事業所のプラスチックごみ問題への関心の一層の向上に向けて、この問題に関して自ら取り組んでいることや、これから始めたいと考えていることについて募集する。
- ・6月下旬頃から募集開始予定。



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西プラスチックごみゼロ宣言（案）

プラスチックは、社会や経済の発展により私たちの暮らしが利便性を増す中で身近に使用されてきました。

使用済みプラスチックの一部は、ポイ捨てなどにより、河川等を通じて海へ流れ込んでいます。こうした海洋プラスチックごみによる地球規模での環境汚染や生態系への影響が懸念され、国際会議で議論されるなど世界的に関心が高まっています。

関西地域は、日本海、瀬戸内海、太平洋に囲まれ、河川、湖沼の間に形成された山地、盆地、平地に2,200万人余りの人々が生活しており、この地域からも相当量のプラスチックごみが海洋に流出していると思われまます。

本年6月、G20サミットが関西の大阪で開催され、海洋プラスチックごみ問題が議題の一つとなる予定です。この機会を捉え、関西全体の広域行政を担う関西広域連合は、プラスチックごみによる海洋汚染防止に取り組むとともに、その強い決意を国際社会に向けて発信することが重要です。

ついては、関係自治体が連携して、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指し、これまで取り組んできたマイボトルやマイバッグ持参運動等を通じた3R（リデュース、リユース、リサイクル）をさらに推進し、住民、事業者、団体等と協力しながらごみのポイ捨て防止や一斉清掃活動、発生抑制などプラスチックごみゼロに向けた不断の取組を行うことをここに宣言します。

2019年5月23日

関 西 広 域 連 合

